

# 編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
103-5	高等学校	農業	草花	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
7 実教	農業 708	草花		

## 1. 編修の基本方針

基礎的・基本的な知識と技術を習得することによって、本科目への興味・関心を喚起し、学習した知識と技術を、実際に各種の草花栽培において、品質と生産性の向上や経営の改善を考える能力と態度を育成するのに役立たせられるようにする。

教育基本法第二条	方針
第1号 幅広い知識と教養を身に付け、真理を 求める態度を養い、豊かな情操と道徳 心を培うとともに、健やかな身体を養 うこと。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの草花を取り上げ、その栽培方法について記述した。</li> <li>・草花の利用についても記述し、草花が暮らしを豊かにし、社会において重要な役割を果たしていることを示した。</li> </ul>
第2号 個人の価値を尊重して、その能力を伸 ばし、創造性を培い、自主及び自律の 精神を養うとともに、職業及び生活と の関連を重視し、勤労を重んずる態度 を養うこと。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・産業としての草花生産を重視し、草花の生産の実践を通して自主性や創造性を養うとともに、自らの職業生活についても考えられるように記述した。</li> </ul>
第3号 正義と責任、男女の平等、自他の敬愛 と協力を重んずるとともに、公共の精 神に基づき、主体的に社会の形成に参 画し、その発展に寄与する態度を養う こと。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・草花の社会における利用について、都市園芸や情操教育、園芸療法などに触れながら記述することで、自他の敬愛と協力を重んじる態度を養うようにした。</li> </ul>
第4号 生命を尊び、自然を大切にし、環境の 保全に寄与する態度を養うこと。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境保全型農業について記述し、草花生産において環境への対策が重要であり、さまざまな取り組みが行われていることを示した。</li> </ul>
第5号 伝統と文化を尊重し、それらをはぐく んできた我が国と郷土を愛するととも に、他国を尊重し、国際社会の平和と 発展に寄与する態度を養うこと。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・草花の原産地や草花の輸出入の状況について記述し、草花生産が国際社会の中で成立していることを示した。</li> <li>・日本の草花園芸の歴史について触れることで、伝統と文化を尊重し郷土を愛する態度を養うようにした。</li> </ul>

## 2. 対照表

### ●全体的な特色

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
本文の記述	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本文の記述にあたっては、文章はできるだけ短くし、箇条書きにしたり図表にして整理したりするなど、簡潔・平易な表現を心がけた。</li> <li>・読みにくい用語などにはルビをふり、重要用語はゴシックにするなど、生徒が読みやすく、理解しやすいように心がけた。(第1号)。</li> </ul>	p.20-21, p.80-81, p.246 など
目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各節の初めに目標を設け、「これから何を学ぼうとしているのか」、「学ぶとどんなメリットがあるのか」など、生徒がこの科目に対する興味・関心を喚起するように努めた(第2号)。</li> </ul>	p.12, p.20, p.32, p.38 など
図表	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学術的な試験データなども、記述の裏付けとして、必要に応じて随所でとり入れた。ただし、グラフ化したり、図・表説明を付記したりして、データの内容を読み取りやすいように工夫した。</li> <li>・草花の生産量などの数値的なデータ類は、できるだけグラフ化し、視覚的にデータが読み取りやすいように工夫した(第1号)。</li> </ul>	p.24, p.32, p.110, p.167 など
コラム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・草花に関する多様なテーマを取り上げ、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養えるようにした(第1号)。</li> <li>・歴史的な話題を取り上げることで、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛することができるよう配慮した(第5号)。</li> </ul>	p.37, p.59, p.63, p.133 など
考えてみよう 調べてみよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・側注欄で適切な課題を挿入し、生徒が自ら考え創造力を高めるようにも配慮した(第1号)。</li> <li>・草花生産に関する諸制度について調べることにより、情報社会におけるルールやモラルについて考え、正義と責任、他者との協力を重んじ、公共の精神に基づいて主体的に社会の形成に参画しようとする態度を養えるよう配慮した(第3号)。</li> </ul>	p.28, p.32, p.69, p.247, p.248 など
見返し	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「おもな草花の原産地」を掲載し、各草花の生理・生態的な特性と栽培管理との関係を理解する一助とした。(第4号)。</li> </ul>	カラーページ p.1, p.2

# 編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
103-5	高等学校	農業	草花	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
7 実教	農業 708	草花		

## 1. 編修上特に意を用いた点や特色

### ●全体的な編修方針

- 1.各節の初めに「(学習の)目標」を簡条書きで示し, これから学ぶ内容や学ぶメリットなどを理解させ, 生徒の興味・関心を喚起した。
- 2.本文の記述にあたっては, 文章をできるだけ短くし, 簡条書きを用いるなど, 簡潔・平易な表現を心掛けた。また, 読みにくい用語や常用漢字以外の漢字にはルビを振り, 重要用語はゴシックにするなど, 生徒が読みやすく, 理解しやすいよう心掛けた。
- 3.学術的なデータなども必要に応じてグラフ化し, 視覚的にデータが読み取りやすいよう工夫した。さらに, 適切な図・表説明を付記した。
- 4.本文中にはできるだけ対応する図・表番号を付し, 本文と図・表の関連を図った。
- 5.本文相互間の関連が明らかになるよう, 随所に参照ページを付し, 学習の便を図った。

### ●各章の編修方針

- ・第1章「草花を学ぶにあたって」では, プロジェクト学習について簡潔に解説し, これ以降の学習において, プロジェクト学習を意識しながら進められるよう, 目標設定の仕方や具体的なプロジェクトの例を紹介した。
- ・第2章「草花生産と消費の動向」では, 多種・多様な草花の分類・形態, 生産の形態, 消費の動き, 流通のしくみと国際化などについて, できるだけ平易に解説し, 草花学習にできるだけ興味と関心を持たせるように努めた。
- ・第3章「生活と草花の利用」では, まず, 生活における草花の利用場面について, 多くの具体的事例を取り上げ, 「草花」の学習に対する生徒の興味・関心を高めることを心がけた。次に生活の中で草花を効果的に利用するために不可欠な, 草花の装飾的特性やデザインの基本的事項について多くの図を用いて視覚的に理解できるように努めた。さらに, 草花の利用の楽しさを体験できるように, 実習や作品制作例を解説した。
- ・第4章「草花の特徴と栽培技術」では, 第1節で, 草花の生育過程を理解する上で必要な形態や生理作用についてやさしく解説し, 光・温度などの環境要因や, 成長調節物質が草花に与える影響について理解を深めるように, データを交えながら解説した。第2節の品種改良については, 草花における品種の重要性を理解するために, 品種改良の歴史や方法を解説した。繁殖方法については, 繁殖方法の違いを具体的に理

解してもらうために、各技術をできるだけ図示し、平易に解説した。また、セル成型苗の利用や、組織培養技術についても丁寧に取り上げた。第3節では、草花の生育を左右する水・土・栄養の肥培管理と栽培管理や病虫害の防除など、草花栽培の技術の基本と仕組みについて、わかりやすく解説した。第4節では、草花の栽培における施設の利用について、施設・設備と資材について丁寧に説明した上で、それらを合理的に利用した制御・維持管理の技術についてもやさしく解説し、施設栽培技術の基本が理解できるようにした。

- ・第5章「切り花生産」では、草花園芸における切り花生産の産業としての位置づけと生産の現状、切り花の品質保持技術をわかりやすく解説するとともに、園芸的な分類に準拠しながら、それぞれの分類ごとに特徴的な生理・生態を理論的に示した。主要な種類については、繁殖から収穫・出荷まで、栽培に必要な基礎的な技術が習得できるように、詳細かつ平易に解説し、それぞれの草花の生理・生態的特性が、実際の切り花生産の中でどのように技術化されているかが理解できるように配慮した。
- ・第6章「鉢もの生産」では、鉢もの生産の栽培的特性や経営的特性をわかりやすく説明した。鉢ものは種類が多いので、鉢花もの・洋ラン・観葉植物に区分して、グループごとに種類と特性をまとめた。主要な種類については、代表的な栽培計画の例を示すとともに、図を多くして、繁殖から商品化までを丁寧に解説した。栽培管理では、できる限り具体的な数字を示し、特色ある技術についても平易に解説した。
- ・第7章「花壇用草花生産」では、花壇用草花の栽培と経営について、実践的・継続的な学習ができることを心がけた。まず、花壇用草花生産の栽培的特性や経営的特性についてわかりやすく解説した。次に、多様な種類と特性、栽培の基礎的・基本的技術について平易に解説し、多くの花壇用草花栽培に応用できる栽培技術を代表的な種類の中で取り上げた。
- ・第8章「草花経営の改善」では、家庭用草花の普及のために、生産・流通・販売の過程でコスト低減のために解決すべき問題点について平易に解説するとともに、環境保全型の草花生産への取り組みについても取り上げた。また、草花経営における実際の改善事例を紹介し、改善策について具体的に考えさせるようにした。

## 2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
第1章 草花を学ぶにあたって 草花とプロジェクト学習	(1) 「草花」とプロジェクト学習	p.7-10	4
第2章 草花生産と消費の動向 1 草花園芸の特徴 2 草花生産と消費の動向	(2) 草花生産の役割と動向 ア 草花生産の役割 イ 生活と草花の利用 ウ 草花の流通と需給の動向	p.12-19 p.20-30	8 (4) (4)
第3章 生活と草花の利用 1 草花の多面的利用 2 園芸デザイン		p.32-37 p.38-48	10 (3) (7)
第4章 草花の特徴と栽培技術 1 草花の生育と環境 2 品種改良と繁殖 3 草花の生育と栽培技術 4 生産施設と栽培環境の調節	(3) 草花の特性と栽培技術 ア 草花の種類と特徴 イ 草花の生育と生理 ウ 栽培環境と生育の調節 エ 品種改良と繁殖	p.50-61 p.62-79 p.80-92 p.93-100	34 (9) (12) (8) (5)
第5章 切り花生産 1 切り花生産の特徴 2 切り花の品質保持 3 一・二年草の切り花 4 宿根草の切り花 5 球根の切り花 6 花木の切り花	(4) 草花の栽培と管理・評価 ア 品種の特性と選び方 イ 作型と栽培計画 ウ 栽培管理 エ 商品化と生産物の管理・評価 オ 機械・施設の利用	p.102-105 p.106-109 p.110-121 p.122-139 p.140-150 p.151-158	34 (2) (2) (9) (10) (9) (4)
第6章 鉢ものの生産 1 鉢ものの生産の特色 2 鉢ものの生産資材と商品化技術 3 花鉢もの 4 ラン類 5 観葉植物 6 サボテンと多肉植物		p.160-162 p.163-169 p.170-190 p.191-203 p.204-215 p.216-218	32 (1) (2) (13) (7) (7) (2)
第7章 花壇用草花生産 1 花壇用草花生産と特色 2 花壇用草花の利用と定植後の管理 3 花壇用草花の栽培		p.220-225 p.226-228 p.229-242	10 (2) (1) (7)
第8章 草花経営の改善 1 草花の生産と経営 2 ユニバーサル農業の視点 3 経営改善プロジェクト	(5) 草花の生産と経営 ア 生産目標と経営計画 イ 生産工程の管理 ウ 流通と販売 エ 地域環境に配慮した草花生産	p.244-251 p.252-253 p.254-257	7 (2) (1) (4)
		計	139

注 1. 配当授業時数は、4単位を想定している。